

宮坂が自己ベストで優勝

水泳・関東学生選手権 200メートル背泳ぎ



高)組が素晴らしい追い上げで2位となった。学校対抗では女子1部で5位となり、昨年の8位から順位を上げた。

宮坂は「最後の関東学生で、4年間の自己ベストが出せたのでよかった。日本学生選手権では決勝に残れるように頑張りたい」と意気込みを新たにしていた。

男子は計8種目で優勝。学校対抗は2位以下に大差をつけて2部優勝。1部復帰を決めた。優勝したのは▽2000メートル背泳ぎ・角田隼人(経営3・前橋育英高)▽1000メートル背泳ぎ・福田晋也(商3・八王子高)▽2000メートル個人メドレー

8種目で▽1部に復帰

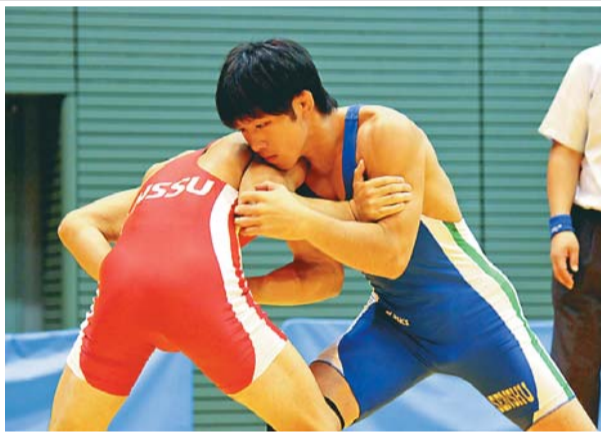
男子

▽4000メートル個人メドレーで2位、2000メートルバタフライで高野有紀(経済4・文4・八王子高)が2分14秒94で優勝した。また、高久彩(ネット情報4・淑徳巣鴨高)が2000メートルメドレーと

8月3日から5日まで、関東学生選手権水泳競技大会が千葉県国際総合水泳場で行われ、女子2000メートル背泳ぎで宮坂悠(文4・八王子高)が2分14秒94で優勝した。また、高久彩(ネット情報4・淑徳巣鴨高)が2000メートルメドレーと

レスリング・全日本学生選手権

フリー60kg グレコ55kg 伊藤と北村が準優勝



8月20日から23日まで全日本学生レスリング選手権が駒沢体育館で行われ、実力を発揮し始めた北村(右)

接戦を制し、準優勝した伊藤(右)



シードの力を見せつけた入江(左)と金子

標にしていたのでうれし」と喜びを口にしていた。(小川史緒梨・文2)写真

居(山梨学院大)と激突。3位に入賞した。伊藤は初戦をテクニカルフォールで突破するも、2回戦で6月の全日本選抜選手権を制した第1シードの高谷(拓大)と対戦。「ポイントが入ってからはやりやすくなった」と語るように、序盤の劣勢を覆し、7-6で振り切った。

決勝戦は昨年の全日本大学選手権で優勝した鴨

勝し、実力を発揮し始めた北村は初戦から積極的な攻撃が目立った。初戦をフォール勝ちすると、準々決勝は7-0のテクニカルフォールで快勝。決勝ではポイントを取ることで敗退した。決勝進出が、「くじ運もよく、決はならなかった。」(優勝も)

勝つ、実力を発揮し始めた北村は初戦から積極的な攻撃が目立った。初戦をフォール勝ちすると、準々決勝は7-0のテクニカルフォールで快勝。決勝ではポイントを取ることで敗退した。決勝進出が、「くじ運もよく、決はならなかった。」(優勝も)

勝つ、実力を発揮し始めた北村は初戦から積極的な攻撃が目立った。初戦をフォール勝ちすると、準々決勝は7-0のテクニカルフォールで快勝。決勝ではポイントを取ることで敗退した。決勝進出が、「くじ運もよく、決はならなかった。」(優勝も)

勝つ、実力を発揮し始めた北村は初戦から積極的な攻撃が目立った。初戦をフォール勝ちすると、準々決勝は7-0のテクニカルフォールで快勝。決勝ではポイントを取ることで敗退した。決勝進出が、「くじ運もよく、決はならなかった。」(優勝も)

勝つ、実力を発揮し始めた北村は初戦から積極的な攻撃が目立った。初戦をフォール勝ちすると、準々決勝は7-0のテクニカルフォールで快勝。決勝ではポイントを取ることで敗退した。決勝進出が、「くじ運もよく、決はならなかった。」(優勝も)

テニス・関東学生選手権

金子・入江ペアが準優勝

第2シードの実力発揮



関東学生テニス選手権が8月5日から10日まで、埼玉県・秩父ミューズパークで行われ、女子ダブルスで金子真理子(文3・秀明八千代高)・入江真子(商2・湘南工科大附高)ペアが準優勝となった。

最大の山場を乗り越えた専大ペアは、その勢いのまま吉田・寺田ペア(立大)との準決勝をストレート勝ちで突破。しかし決勝では「今までと違う雰囲気圧倒され、緊張してしまった」とストレート負けを喫した。「決勝戦を強気で戦えなかったことが悔しい。それでも昨年(ベスト8)よりも上を目指していたので良かった。今までで一番良い成績なので誇りに思う」と2人そろってコメントした。今後について「チームでは関東大学リーグ戦でまずは1部残留を確実に決めたい」と話した。(斎藤亮太・文2)

専Sation第10号発行

「専Sation」のブトで製作した。最新号が9月13日に発行された。足かけ5年、節目の10号を迎えた今回のタイトルは「感謝」。選手からだけでなく、私たちが作り手からその思いを伝えたいというコンセプトで制作した。コンテンツはユニバーシアドのサッカー日本代表で活躍し、Jリーグからも熱い視線が注がれる長澤和輝主将(経営4・八千代高)、下田北斗(人間科学4・大清水高)の独占対談、注目のルーキーを紹介する「SENSHU AT HELTICS ROOM」(KESJ)専スポ部員がオススメだ。

「金子さんの強気な声と、気持ちでアグレッシブに攻める姿勢に引張られた」(入江)と振り返るように、二人に積極的なプレーが戻り、7-6で逆転。ファイナルセットは6-2で勝利した。

専大スポ

No.330

大会結果 予定は体育会ホームページ 専大ホームページ「スポーツ」からアクセスください
専大ホームページ編集部 web(http://sensupo.web.fc2.com)でも大会結果を配信しています



K-4で優勝した三浦、村上、佐藤、石橋(左から)

8月4日から11日までの4×500メートルで準優勝した。三浦主将は「合宿の間、いろいろなことを試しながらメンバーを決めた。K-4はあまり練習する時間を取れなかったが、うまく息を合わせて漕ぐことができた。練習してきた中で一番よかった。1000メートルで優勝、K-1(カヤック)と思う」と振り返った。9月に行われる日本

漕艇・関東学生カヌー選手権 K-4 1000メートルで準優勝

8月4日から11日までの4×500メートルで準優勝した。三浦主将は「合宿の間、いろいろなことを試しながらメンバーを決めた。K-4はあまり練習する時間を取れなかったが、うまく息を合わせて漕ぐことができた。練習してきた中で一番よかった。1000メートルで優勝、K-1(カヤック)と思う」と振り返った。9月に行われる日本



「感謝」 KESJ、専スポ部員がオススメだ。